



第93号

発行者
 一般財団法人 須坂市身体障害者福祉協会
 〒382-0076 須坂市馬場町1218
 (須坂市福祉会館内)
 ☎(026)248-8887

新春を迎えて



明けまして
 おめでとうございます。
 須坂市身体
 障害者福祉協

会の皆様方には、お健やかに新春
 をお迎えのこととお喜び申し上げ
 ます。

日ごろから須坂市の発展と社会
 福祉向上のためにご貢献とご活躍
 を賜っておりますことに心より敬
 意と感謝を申し上げます。

振り返りますと、昨年は4月1
 日に「障害を理由とする差別の解
 消の推進に関する法律」が施行さ
 れました。

この法律の主旨は障がいの有無
 によって分け隔てられることな
 く、相互に人格と個性を尊重し合
 いながら共生する社会の実現にあ
 ります。

須坂市長 三木正夫

この法律の施行により地方公共
 団体は、障がいを理由とする不当
 な差別的取扱い、合理的配慮の不
 提供が禁止されます。須坂市役所
 としましては、職員対応要領の策
 定や各種研修を実施しました。ま
 た、ヘルプカードの作成を契機に
 障がいの理解にむけた啓発活動に
 取り組んでおります。

教育の分野では、長野養護学校
 高等部「すぎか分教室」が開校さ
 れ、障がいの有無に関わらず、「地
 域の子どもは地域で育てる」理念
 の実現に向けて、小・中・高の一
 貫した特別支援教育体制が整備さ
 れました。

貴協会におかれましては、ス
 ポーツ大会開催事業及び身体障害
 者機能訓練事業を受託され、障害
 者マレットゴルフ大会、障害者卓
 球大会、各種機能訓練事業を運営

いただき、障がいの者の社会参加、
 健康増進、スポーツの向上や機能
 回復に大きく貢献されてこられま
 した。

須坂市としましては、社会参加
 活動を促進するため、各種事業を
 実施するほか、須高地域自立支援
 協議会を中心に須高地域の障害福
 祉における課題の共有、関係者の
 連携をしていきます。

平成29年も、皆様との「共創」

新年のごあいさつ

須坂市社会福祉協議会会長 植木新一

明けまして
 おめでとうございます。
 皆様にはお
 健やかに新春

をお迎えのこととお喜び申し上げま
 す。

日頃から須坂市社会福祉協議会
 にお寄せいただいております深い
 ご理解と、ご支援、ご協力に対し
 厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、4月に熊本地震、
 8月には台風10号による大災害、
 11月は鳥取県中部地震、そして福
 岡市の市街地における大規模な道

「協働」の理念で、引き続き福祉
 施策の推進に努力し、障がいの有
 無に関わらず住み慣れた街で安心
 して生活できるよう福祉のまちづ
 くりを進めてまいります。

年頭にあたり、須坂市身体障害
 者福祉協会の益々のご発展と、会
 員の皆様方のご多幸とご健勝をご
 祈念申し上げます。新年のごあい
 さつとさせていただきます。

路陥没など、災害や事故が相次い
 で発生し、関連のニュースが連日
 報道されました。

一方、8月のリオデジャネイロ
 オリンピック、9月のパラリンピ
 ックでの日本人選手の大活躍は、
 大きな感動と勇気を与えてくれま
 した。特に、24個のメダルを獲得
 したパラリンピックでの選手たち
 の活躍は、災害等からの復興への
 大きな力になったものと思います。

こうした中、本会では「第3次
 須坂市地域福祉活動計画」の初年
 度にあたり具体的な活動を展開し
 てきました。生活就労支援センタ

「まいさぼ須坂（須坂市からの受託事業）」では、生活困窮に悩む方の自立に向け、相談者に寄り添ったきめ細かな支援に努めてきました。

また、障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会を目指して、昨年4月に障害者差別解消法が施行されました。12月には、この解消法の普及及び障がいを理由とした差別的解消に向けた地域セミナーを開催しました。

さらに、4月からは須坂市の「総合事業」の開始に伴い、介護保険事業では委託を受けた事業等に取

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。
皆さまのご協力をいただき

協会運営も滞りなく新年を迎えることが出来ました。

本年もよろしくお願いいたします。

熊本県、鳥取県、福島県沖の地

り組んでいきます。介護保険事業は制度改正による報酬単価の見直し等で厳しい運営が続きますが、今後利用者の皆様へのサービスを低下させることのないよう事業を進めてまいります。

今後も引き続き、人と人とのつながりの持てる地域福祉の推進に、職員一丸となって取り組んでまいります。

最後になりましたが、須坂市身体障害者福祉協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

理事長 山岸 厚

震災や北海道を始め集中豪雨による人身災害と農産物への災害と昨年も暗いニュースがテレビや新聞紙面を占めた一年でしたが今年こそ平穏な一年でありたいと願っています。

「障害者差別解消法」が昨年から施行されました、障がいを持つ人も無い人も一緒に社会参加ができる「社会的障壁」のない社会を

実現してほしいものです。

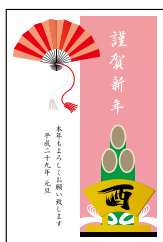
「社会的障壁」とは、「障害がある者にとって日常生活・社会生活を営む上で障壁となる社会における事物、制度、慣行、観念その他一切の物をいう」、とされています。

欧米諸国やオーストラリア、韓国では障がいの日常生活・社会生活の平等を保障する法律、差別を禁止する法律が出来ています。

障がい者を特別扱いや優遇する物ではありません、人間が人間らしく生きるための社会を実現するだけです。

一般財団法人に移行して早くも4年が過ぎようとしています。29年度は理事、評議員、監事の役員改選の年でもあります。会員数の減少に歯止めのかからない現状の中、身障協会は年寄りの集まりとの誤った観念を耳にしてショックを受けました、協会も事あるごとに訴えて行きます、皆様の協力をお願いいたします。

結びに皆様にとつて今年一年が良い年でありますようご祈念申し上げます。



事業部長退任の挨拶

黒岩京子



サマーランドの売店をやらせていただき、11年が過ぎ、年月は長くても、あつというまでした。始めたきつかけは、亡き、関野理事長さんから「サマーランドの売店をやってくれないか」と、依頼され、お話を聞きしているうちに、やってみようと思えました。最初は手さぐり状態で、主人を始めいろいろな人に協力していただき、毎年毎年試行錯誤しながら現在に至りました。人と接することが好きな私は忙しくても夏は売店が私の楽しい憩いの場でもありました。足が自然に売店へ向かってしまうのです。ちよつと淋しい気もしますが、沢山の人の出逢いが、私の心の宝となりました。29年度からは、新しい人にバトンタッチしたいと思います。お世話になった多くの皆さん、本当にありがとうございます。

事業報告

ふれあい広場

10月15日(土)、須坂市メセナホールに於いて、須坂市社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」が開催された。



本協会でも女性部が主体となり日用品や衣類、お菓子などのバザーを行いました。

参加して頂いた女性部の方、品物を提供して頂いた皆さん、ご協力ありがとうございました。

北信ブロック交流会

10月18日に高山村身体障害者福祉協会の主催で交流会が開催され、総勢54名が参加、一茶ゆかりの里館長の講演と俳句教室が開かれました。

各協会から投稿された俳句の入選作が発表され、本協会からも二人の俳句が選ばれました。

研修旅行に参加して

毎年恒例となっています研修旅行が、去る10月20日に行われ総勢40名が参加されました。



当日は朝6時30分にメセナの駐車場を出発し、最初の目的地「三条燕ストックバスターズ」では私たちが店時間を

◆特選

「仏壇の街の散策

大峽圭子さん

◆佳作

「孫と行く稲穂黄金の散歩道」

秋日和
神林昌子さん

入選おめでとうございます。

繰り上げて頂き他のお客様がいない店内でゆっくりお買い物が出来ました。

弥彦神社では本殿の横までバスを入れていただき大変好評でした。

昼食休憩所の「寺泊温泉ホテル飛鳥」では見晴らしの良い会場で美味しい海の幸などをいただき皆さんと楽しく交流が出来ました。帰路に寺泊中央水産で新鮮な海産物のお土産を買い求め須坂へ帰って来ました。

須坂市障がい者マレットゴルフ大会

マレットゴルフ大会

10月24日(月)百々川緑地マレットゴルフ場の臥竜コースを使い、須坂市と本協会の共同主催による「須坂市障がい者マレットゴルフ大会」が開催された。



健康福祉部長、社協会長のお2人を迎えた開会式の後、競技に入り熱戦を繰り

須高三協会合同健康教室

12月7日(水)シルキービル三階にて、須高三協会合同の健康教室を開催した。

県協会の事業で毎年開催しており、今年は一知っておこう！感染症の予防」と題し、須坂市健康づくり課の保健師による手洗いの大切さの講話と、実践による汚れの落ち具合を機械で確認し感染症予防と健康維持の認識を高めた。



広げた。社協や公民館の協力を頂きポスターの掲示を行ったが会員以外の参加者が少なく来年への課題となった。入賞者は次の通りです。

☆男子の部

- 一位 須藤悦男(明徳町)
- 二位 中村 宏(田の神町)
- 三位 内堀満男(旭ヶ丘町)

☆女子の部

- 一位 岸部節子(幸高町)
- 二位 島田つる子(旭ヶ丘町)
- 三位 本田春子(望岳台)

入賞品のほか各種賞品と全員に参加賞が贈られた。

ぬくもり山柳班

フルコースよりも茶漬けが性に合い
レフリーのいない政治で泥仕合
万歩計よるけた数も入ってる
夫より犬を案じて帰る友
人の無駄見えて自分の無駄見えず
核家族大きな家を持って余す

以上 ピースさん作

自画自賛爺の手料理星三つ

騙されてみるかサブリのコマーシャル

原石も磨けば光る子は宝

オバタリアン今日もいそいそ食事を

旨いもの過ぎて後悔二段腹

小池知事手ぐすねを引く男ども

マニフェスト市民目線の小池節

以上 と金さん作

マレットで二年総合優勝だ

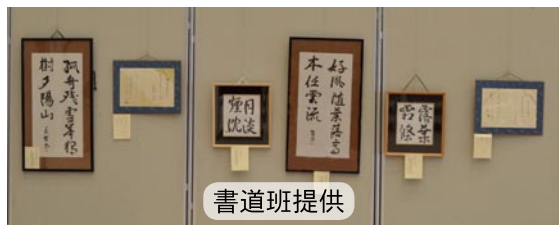
せつちゃん作

第29回 須坂市障がい者卓球大会要領

- ☆主催 須坂市、本協会
- ☆運営 生きがい事業卓球班
- ☆大会日 2月26日(日)
- ☆会場 須坂市福祉会館2階
- ☆日程 受付 午前8:30
開会式 午前9:15
競技開始 午前9:50
- ☆参加費 300円(昼食代です。食事に制限のある方は連絡ください)
- ☆参加資格 市内在住・在勤の障がい者、協会会員、関係者
- ☆競技種目 ①男子シングルス
市長杯
A・上級者ブロック
会長杯
B・初中級ブロック
②女子シングルス
理事長杯
A・ブロック
須坂新聞社杯
ダブルス
(抽選により組合せ)
- ☆申込期間 1月19日(木)から
2月14日(火)まで
- ☆申込及び問合せ 協会事務局 TEL 248-8887
FAX 248-8887
(火・木以外はFAXでお願いします)
丸山京子 TEL 246-8698



絵画班提供



書道班提供

「ふれあい広場」 展示の会員作品

お知らせ

「定款」の一部変更

過日の理事会と評議員会の審議を経て「定款」の一部変更が議決されました。

内訳は(太字が変更箇所)

◇評議員の定数を

「10名以上・15名以内」を

「5名以上・12名以内」に

◇理事の定数を

「10名以上・15名以内」を

「5名以上・12名以内」に

◇役員の設置

「1名を副理事長とする。」を

「2名を副理事長とすることが出来る。」に

以上の3項目を変更します。

施行は来年度からの実施になり、

29年度会員名簿に詳細部分を掲載

いたします。

いたします。

お詫びと訂正

第92号の協力店紹介で電話番号を間違えて掲載してしまいました。訂正してお詫びします。

◇床屋「かわもと」様

誤 〇二四五―五二六一を

正 〇二四八―五二六一に

◇かみさわクロックストア様

誤 〇二四六―八三二一を

正 〇二四五―八三二一に

新年度の役員改選

各支部に於かれましては、支部長のもと評議員1名、理事1名の推薦をお願い致します。期限は2月23日厳守でお願いします。

会員動向 (平成28年12月20日現在)

☆新入会員(よろしくお願ひします)

第12支部 山岸 啓佐義

第7支部 須藤 宗 男

第8支部 樋田 梅子

第8支部 和田 敬子

☆物故者(冥福お祈り申し上げます)

第1支部 大 峽 康 夫

第12支部 坂 田 志 げ

第10支部 村 石 守 治

第8支部 岩 崎 邦 松

第4支部 北 澤 二 郎

元理事長 北澤二郎氏逝去

昨年12月17日、元理事長の北澤

二郎氏がお亡くなりになりました

た。12代理事長として昭和62年か

ら9期18年間を務められ、須坂市

身体障害者福祉協会の発展の為

にご尽力をいただきました。謹んで

お悔やみを申し上げます。合掌

編集後記

新年おめでとうございます。
本誌を15日発行したのは県の会報発行に合わせて配達回数軽減に考慮しました。今年もよろしくお願ひします。